



研究テーマ

グローバル人材育成支援

在住外国人の地域社会参加促進:日本語学習支援

宮崎地域の国際化の推進

研究概要

国際化戦略により、宮崎大学の外国人留学生は5年前の2倍の364名(長期188名+短期176名:平成27年度)、海外へ飛び立つ日本人留学生は3倍となりました。また、外国人留学生の日本理解や地域社会参加の促進も進めています。これらの経験で培った、国際交流、留学支援、国際意識の啓発、日本語教育支援及び人材などを地域に還元し、宮崎大学は地域国際化と国際色豊かな将来に貢献していきます。



伊藤 健一

いとう けんいち

国際連携センター

兼 語学教育センター

日本語教育部門

兼

産学・地域連携センター

講師

兼 日本語教育部門長

キーワード

グローバル、グローバル、留学、人材育成、地域国際化、日本語教育

特許情報・
共同研究・
応用分野など

【プロジェクト等】

(国際連携センター)

・留学支援

・留学生地域参加

・国際化教育支援

(+産学・地域連携センター)

・地域国際化支援

(日本語教育部門)

・日本語公開講座

【共同研究】

(日本語教育部門)

平成27年～現在

外国人の日本語習得を支援

するICTによる遠隔日本語教育

教材の開発

など

1 グローバル人材育成支援 (国際連携センター)

国際化が進む中で、地域と世界を結ぶグローバル人材が求められており、高校等でも海外高校との国際交流や、大学との連携による留学生交流などの国際化教育が盛んとなっています。そこで、そうした国際交流や学習の企画、助成申請、計画、実施の支援などを行っています。

(右写真: 県立北高校が科学技術振興機構「さくらサイエンスプラン」で招へいたミャンマーの高校生との交流を支援する本学教員・留学生)。



2 在住外国人の地域社会参加促進:日本語学習支援

(語学教育センター日本語教育部門)

宮崎の外国人住民が日本語を話すことで、住みやすくなって地域社会に参加し、これにより地域が国際色豊かに活性化することを目指して、公開講座「日本語会話」の開講や、ICT日本語学習教材開発等、地域外国人の日本語支援を進めています。

3 宮崎地域の国際化の推進(国際連携センター、産学・地域連携センター)

地域活性化の中で国際化のニーズがありますが、一朝一夕に海外文化や国際交流に馴染むことは簡単ではありません。そこで、地域の方々に国際交流や異文化交流を感じてもらうとともに、留学生には宮崎を知ってもらって将来、宮崎で活躍する人が出て欲しいことから、日本語を学ぶ外国人留学生の地域活動への参加や地域企業様等でのインターンシップを進めています。

ホームページ

国際連携センター <http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/~kokusai/>

技術相談に応じられる関連分野

- ・ 国際交流支援、国際化啓発(国際連携センター)
- ・ 地域在住外国人の日本語教育・学習支援(語学教育センター日本語教育部門)
- ・ 地域及び企業様の国際交流、対応の国際化支援(国際連携センター、産学・地域連携センター)

メッセージ

農学と工学の分野で環境について学び、民間企業で緑化や汚染に関わり、人の生活環境におけるハード面の改善をしてきました。その間、国際分野には関わりない業務についていましたが、環境技術の分野で海外からのニーズがあり、徐々に国際に関わることになりました。これからの人の生活環境を考えた場合、技術などのハードだけでなく、人と人が触れ合うソフトの部分(文化、言語など)の両方が必要であり、その両輪のバランスが、地方における生活環境の発展には必要だと考えています。

国際分野は、敷居が高い、外国語が話せること、海外経験が必要だ、と思う人が多いと思います。私自身、決して英語が得意なわけでも、留学経験や長い海外経験があるわけでもありません。**国際化とは、能力ではなく意識ひとつで変わるもの**だと思います。これからの宮崎で国際化に取り組みたい、関心がある、やってみたいことがあるかたは、是非ご相談ください。